

教育委員会会議録（4月定例会）

日 時

平成27年4月28日（火）
午後3時00分から午後3時45分まで

場 所

教育プラザ ギャラリーB室

出席委員

委員長	森嶋 鎮一郎
委員長職務代行者	上村 由美
委員	花田 和郎
委員	伊藤 吾子
教育長	中山 俊恵

委員以外の出席者

総務課長	窪田 康德
学校施設課長	関根 博之
学務課長	内山 信弘
学務課課長	矢板 恭介
生涯学習課長	佐川 勝宣
スポーツ振興課長	住谷 玲
新体育館建設課長	千葉 忠好
指導課長	川崎 恭子
郷土博物館課長	村田 和雄
記念図書館長(兼)視聴覚センター所長	鈴木 士郎
教育研究所長	大沢 靖司
宮田調理場長	川崎 浩行
保健福祉部子ども施設課長	岡見 安美
総務課課長補佐(兼)庶務係長	中村 大介
総務課計画財務係長	酒地 康彦
総務課係長(企画員)	松永 朗
総務課主幹	鈴木 由紀恵
総務課主事	宇佐美 亮

議 事

1 報 告

報告第 4 号 教育委員会 3 月定例会の会議録について

2 議 案

議案第 1 8 号 専決処分について（日立市立幼稚園の利用者負担に関する規則の
制定について）

議案第 1 9 号 日立市教育行政点検評価委員の委嘱について

3 その他

(1) 平成 2 7 年度日立市奨学生の選定結果について

(2) 平成 2 7 年度指導主事及び指導員について

(3) 平成 2 7 年度特別活動推進事業について

(4) 日立市子ども読書活動推進計画について

(5) その他

(6) 次回の教育委員会の日程について

会 議 の 概 要

1 開 会

午後3時00分

委 員 長

それでは、只今から4月の教育委員会定例会を開催します。
本日は、傍聴希望者が3名おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員

結構です。

(傍聴人入室)

2 報 告

報 告 第 4 号

教育委員会3月定例会の会議録について

委 員 長

それでは、まず、報告第4号について御意見を伺います。
いかがでしょうか。

全 委 員

特にありません。

(本件については原案どおり承認されました。)

3 議 事

議 案 第 1 8 号

専決処分について(日立市立幼稚園の利用者負担に関する規則の
制定について)

委 員 長

それでは次に議事に移ります。
議案第18号について、子ども施設課長から説明をお願いします。

子ども施設課長

平成27年3月31日付けで行った専決処分について(日立市立
幼稚園の利用者負担に関する規則の制定について)、承認を求める
ものです。

本規則は、子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、日立市立幼
稚園の一時預かり利用料の額、保育料等の減免及び滞納に対する措

置について定めるものです。

これらについては、日立市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例施行規則第5条から第7条までの規定を準用することとしています。

準用する規定ですが、まず、第5条には、一時預かり利用料の額について定められています。

利用する幼稚園に在籍する園児については、1日当たり400円、4時間を超える場合は、500円とします。

第6条には、保育料等の減免の申請及び決定の手続きについて、定められています。

第7条には、滞納に対する措置として、督促の方法、納付する期限、助成の手続きについて、定められています。

施行期日は、平成27年4月1日です。

また、本規則の制定に伴い、日立市立幼稚園授業料等条例施行規則を廃止することとします。

(本件については原案どおり承認されました。)

議案第19号 日立市教育行政点検評価委員の委嘱について

委員長 次に、議案第19号について、総務課長から説明をお願いします。

総務課長 日立市教育行政点検評価委員を委嘱するものです。

点検評価については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、事務の管理及び執行状況について、点検評価を行わなければならないとされているため、平成20年度から実施しています。

また、実施に当たっては、教育に関し知見を有する者の意見を活用することとされています。

このことから、本市においては、日立市教育行政点検評価委員規程を定め、委員を3人以内とし、任期を2年としているところです。

現在は、平成25年度から、茨城キリスト教大学の江尻教授、保護者の代表として、成沢小学校おやじの会OBの小寺氏、元日立市立小・中学校PTA連合会副会長の田所氏の3人をお願いしているところです。

今回、現委員の任期満了に伴い、新たに委員を委嘱します。

1人目は、茨城キリスト教大学副学長の池内耕作氏です。

2人目は、日立市立小・中学校PTA連合会会長の志摩邦雄氏です。

3人目は、日立市社会教育委員の柴田百恵氏です。

任期は、平成27年5月1日から平成29年4月30日までとなります。

参考としまして、今後のスケジュールをお示しします。

本日、委員の委嘱について可決されましたら、来月の教育委員協議会で概要を説明します。

また、5月下旬から6月中旬に実施する内部評価については、6月30日に予定している教育委員協議会において、委員の皆様と協議していただきます。

最終的には、8月27日に予定している教育委員会定例会において報告書を提案させていただき、9月に、市議会への報告、市教育委員会ホームページへの掲載をもって公表することを想定としています。

委員 40代の委員が2人いるというのは、とてもいいことだと思います。

教育長 点検評価委員にさせていただく外部評価で出た意見は、教育委員会にどのように報告し、反映するのか、確認させてください。

総務課長 外部評価で出た意見については、8月の教育委員会定例会や協議会において報告する予定です。

(本件については原案どおり可決されました。)

4 その他

(1) 平成27年度日立市奨学生の選定結果について

委員長 続きまして、その他に移らせていただきます。
その他(1)について、総務課長から説明をお願いします。

総務課長 平成27年度日立市奨学生の選定結果について、報告します。
平成27年度日立市奨学生については、2月1日から末日までを募集期間としまして、応募者を募りました。

3月16日に応募者全員との面接を実施し、3月18日に選考委員会を開催したところです。

募集人員は、高校進学者が6人、大学進学者が30人です。

今回、高校の応募者は0人でしたが、大学の応募者は15人で、応募者全員が選定されました。

奨学生の人数については、昨年度は16人、一昨年は17人と、

ほぼ横ばいの状況となっています。

また、今年度は、奨学生の家計基準について見直しを行いました。これまでは、同居の親族全員の収入を合わせて判断していましたが、今年度から、保護者の収入のみで判断することとしました。

委員 高校の応募者は、しばらく0人なのですか。

総務課長 昨年度は、1人応募がありました。

委員 応募者が少ないのは、募集の時期が関係しているのではないのでしょうか。2月末には、進学校がまだ決まっていない状況ですから。

総務課長 応募の段階では、進学先が決まっていない場合、大学、高校とも、受験する学校を申告していただいています。

また、選考委員会の開催が、大学の後期日程が終了する前でしたので、選考後、進学先が変更となった場合には、変更後の進学先で認定しています。

委員 30人募集をして、15人しか応募がなかったとのことですが、広報はどのように行っているのですか。

総務課長 広報については、市報への掲載、市内各中学校、高校への通知等により行っています。

委員 できるだけ応募者が増えるように、検討していただければと思います。

委員 奨学生の学力基準はあるのですか。

総務課長 学力基準については、高校、大学とも平均3.5以上としています。また、特例として、災害等により被災した家庭については、高校の奨学生についてのみ、平均2.7以上としています。

委員 今は子どもたちのほとんどが高校に進学しているわけですから、学費が払えなくて学校に行けないという子どもも、ほとんどいないと考えられます。

それを考えれば、もう少し学力基準を下げないと、応募者はあまり集まらないのではないのでしょうか。

基準を下げすぎるのも良くないですし、他の奨学金制度との兼ね合いもあるでしょうから、一概には言えませんが、学力が低い子どもも進学していることを考えると、ある程度基準を下げないと、応

募者は増えないのではないかと思います。

総務課長 広報や基準については、検討課題とさせていただきます。

(2) 平成27年度指導主事及び指導員について

委員長 それでは次に、その他(2)について、学務課長から説明をお願いします。

学務課長 平成27年度指導主事及び指導員について、説明します。
まず、学務課については、学務課長が、指導課からの異動により内山となりました。

指導課については、昨年度まで会瀬小学校に所属していた川崎が指導課長となったほか、新任の指導主事が4名となっています。

教育研究所の指導主事、生涯学習課の社会教育主事については、変更ありません。

指導員については、3名が新任となっています。

委員 学校からの指導員の要請は、年間でどのくらいあるのですか。

指導課長 昨年度は、1人3回の計画訪問のほか、指導案の検討等について、何度か要請がありました。

委員 指導主事及び指導員がこれだけ配置されている市町村はあまりないと思うので、十分に活用するよう、各学校に伝えていただければと思います。

(3) 平成27年度特別活動推進事業について

委員長 それでは次に、その他(3)について、指導課長から説明をお願いします。

指導課長 平成27年度特別活動推進事業について、説明します。
これまで実施してきた「心ゆたかな体験学習」をバージョンアップさせ、「特別活動推進事業」として、今年度から実施することとしました。

小学校から中学校への接続を滑らかにするという目的である「心ゆたかな体験学習」に比べ、「特別活動推進事業」では、自主的な話し合い活動の場を体験し、よりよい人間関係の構築や、自分たちの問題について解決する力を育てることを目的としています。

文部科学省からも、特別活動、特に学級活動での話し合いについては、十分な指導・教育を行うよう示されているところです。

また、実施時期については、これまで1学期に限定されていましたが、5月から翌年の2月までに拡大されました。

ただし、学級での話し合いを基に、子どもたちが企画して、子どもたち自身で問題解決できる宿泊体験をすることとしています。

なお、今年度は、1学期に実施を予定する学校がほとんどですが、1校だけ、10月に予定する学校もあります。

今年度、学校から報告があった宿泊先は、きららの里、西山研修所、たかはら自然塾、会瀬青少年の家ですが、日程的にも場所的にも、今年度はスムーズに確保できたものと考えています。

委 員 今までは、先生が主導で企画することが多かったのですか。

指 導 課 長 今までは、6月ぐらいまでの実施ということもあり、まずは、いろいろな小学校から集まった子どもたちが、中学校で1クラスに入った時に、スムーズに学級活動がスタートできるようにということが狙いでした。そのため、話し合い活動が十分に進まなかったということがあり、教員主導という面が、多少強く見られました。

国や県では、いじめ防止や学力向上、問題解決能力向上のため、子どもたちが自主的に企画し、体験する活動への移行を推進しています。

委 員 宿泊施設は、市内近郊の施設で事足りるのですね。市外のもう少し遠い施設などは、利用しないのですか。

指 導 課 長 今のところ、学校からそういった希望は出ていません。また、宿泊先が遠方になると、移動時間がかかりますので、その分話し合い活動の時間が少なくなってしまうということもあります。

(4) 日立市子ども読書活動推進計画について

委 員 長 それでは次に、その他(4)について、指導課長から説明をお願いします。

指 導 課 長 日立市子ども読書活動推進計画について、説明します。

この計画は、昨年度、策定委員会20名により策定し、先日、各学校等の関係者に配布したところです。

平成18年度に策定した前計画では、環境整備や蔵書率の向上、各市立図書館の活動の推進を目標として掲げていました。

今回の計画では、量的なものから質的なものへということで、これまで幼児期から力を入れていましたが、マタニティから大人まで、社会全体で取り組む読書習慣の形成を目標としています。

また、学校の学習に役立てるため、情報センターとしての機能充実を図ることにも力を入れます。

今後は、図書館事務や司書教諭に対して、研修会と評議委員会を、それぞれ年2回実施し、2学期には、読書アドバイザーが各学校を訪問するなど、学校や図書館の連携強化に努めます。

委員 第5章の「計画の効果的な推進のために」には、「本計画に掲げられた各種施策を実施するため、必要な財政上の措置を講ずるよう努めます。」と書かれています。

結局、図書活動を進めていくためには、いい本がなければできません。情報センターとして充実させていくことも、最終的には財政的なことにつながっていきます。

財政上の措置は、各学校ではできないことですし、教育委員会ががんばってやっていく必要があると思いますので、是非よろしくお願ひしたいと思います。

教育長 この計画をつくったことで、財政当局などに対して、体系的に予算の必要性を説明することができますので、予算の獲得を目指していきたいと思います。

また、市民の皆様の御理解をいただくことが大事だと思いますので、教育委員の発言も併せて公表していきたいと思います。

委員 このことについては、教育委員会一丸となって進めていければと思います。

委員 今度、総合教育会議という、市長と直接話合いをする機会ができますので、そういったところでも発言をしていきたいと思います。

(5) その他

委員 長 それでは、その他で、ほかにある方はいますか。

スポーツ振興課長 4月のスポーツイベントの結果について、報告します。
まず、第4回日立さくら杯社会人野球大会の結果についてです。
4月4日に、市民運動公園野球場で開催しました。
前回までは、日立製作所が3勝していましたが、今回は、JX-ENEOSが優勝となりました。

また、同日の大会前には、多賀中学校と滑川中学校の対抗戦を行いまして、多賀中学校が勝利しています。

観客数は1,200人で、前年度の1,600人から400人の減となっています。観客数が減った原因は不明ですが、当日は雨が心配されていたので、その影響もあったのではないかと思います。

次に、第38回JABA日立市長杯選抜野球大会の結果についてです。

4月9日から14日まで、市民運動公園野球場及び日立製作所会瀬球場で開催しました。今回は、大会期間が予定よりも2日間延長されるなど、雨天に悩まされた大会となりました。

優勝は、NTT東日本、準優勝は、日本通運でした。

日立製作所については、予選リーグ1勝2敗で敗退となりました。

観客数は2,400人で、前年の3,500人から1,000人以上の減となりました。やはり、雨天により順延したことが、観客数が減った主な理由だと考えています。

続いて、第15回日立さくらロードレースの結果についてです。

4月5日に開催し、参加申込人数が18,121人、完走者人数が14,472人で、昨年度よりも1,000人程度少ないという結果でした。

各部門の優勝者のほか、特別賞としまして、日立市大沼町の谷照男さん(82歳)が、ゴールド賞(最高齢賞)を受賞しました。

また、はるばる賞のうち、最北受賞者としては、北海道札幌市の本間満弘さんが受賞しましたが、最南受賞者については、受賞予定の方が当日参加をキャンセルしたため、該当者なしとなっています。

委員長 その他、ほかにある方はいますか。

宮田学校給食調理場長 学校給食関係について、2点報告があります。

1点目は、南高野調理場の調理業務の一部民間委託についてです。

まず、4月3日に実施した委託業者による学校給食試食会には、委員の皆様にご出席いただき、ありがとうございました。

当日は、保護者、学校長など、約50名の方に来ていただき、試食をしていただきました。試食した方にはアンケートをとりまして、料理の味付けや見栄えなどについて、おおむね良いという意見をいただきました。

委託業者の調理体制については、これまでよりも手厚い65名体

制で業務を行っていただき、現在のところ大きな問題もなく、スムーズに移行しています。

今後も業者と連携を取りながら、市が責任を持って進めていきます。

2点目は、宮田調理場の食缶についてです。

今年度から、より保温性の高い食缶に変更しましたが、子どもたちからは、とても温かくておいしいという声をいただいています。

調理場としては、引き続き子どもたちのために、安全でおいしい給食の提供について、進めていきたいと思えます。

(6) 次回の教育委員会の日程について

委員 長 それでは、次回の教育委員会の日程について、総務課長からお願いいたします。

総務課 長 平成27年5月28日、木曜日に、日立市教育プラザで午後3時から開会予定です。

5 閉 会 午後3時45分

委員 長 それでは、以上をもちまして、教育委員会4月定例会を終了いたします。